

⑧ 未来を切り拓く資質・能力を育成する高校授業改革推進事業

高校教育課

1 事業の目的・背景

これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、国は高校教育改革（高大接続改革）を進め、学習指導要領の改訂や「大学入学共通テスト」の導入を実施する。これらを踏まえて、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善や「カリキュラム・マネジメント」の視点に立った教育活動の推進を図る。

2 事業の概要

(1) 予算額 2,607千円

(2) 財源 全額一般財源

(3) 事業期間 平成31年度から平成33年度まで

(4) 事業内容

異年次の教員（若手・中堅・ベテラン）と指導主事・大学教員で「資質・能力育成研究会」を組織し、4部門の研究部会（授業、探究学習、マネジメント、評価）において、実践研究を実施し、その成果を県内に発信する。

① 「主体的・対話的で深い学び」の実践研究（授業研究部門）

各教科のパイロット教員が、指導主事・大学教員と共同で授業研究を実施

② 「総合的な探究の時間」の実践研究（探究学習研究部門）

SSH・SGH研究指定校を中心に研究発表会や研究協議を実施

③ 「カリキュラム・マネジメント」の実践研究（マネジメント研究部門）

PDCAサイクルの構築を目指した学校運営について研修会や実践研究を実施

④ 「資質・能力」を評価する問題研究（評価問題研究部門）

各教科の指導教諭等と若手・中堅教員で「資質・能力」の評価研究を実施

3 事業効果

(1) 「新学習指導要領」や「大学入学共通テスト」を踏まえた教育活動を進めることで、生徒にこれから求められる資質・能力を育成できる。

(2) 異年次の教員（若手・中堅・ベテラン）で研究部会を組織することで、協働性や同僚性を構築した中で、それぞれの年次の人材育成ができる。

(3) 学校・教育委員会・大学が連携・協働して実践研究を進めることで、教員研修プログラムの質の向上が図れる。